



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより 9号
校長 芹澤 敏光
令和5年12月21日

2学期終了にあたって

校長 芹澤 敏光

年の瀬を迎え今年も残すところ10日ほどとなりました。「光陰矢の如し」と言いますが、毎年この時期になると歳のせいもあるかもしれませんが、時の流れの速さを実感します。

さて、今学期も予定していた学校行事を順調に実施することが出来ましたが、例年とは違うものとして、Performance Group「和一jin」による和太鼓公演と三遊亭鳳月さんによる落語教室がありました。私も、いずれもプロの技にライブで接するのが初めてでしたが、和太鼓公演では情感豊かでパワフルな演奏に圧倒されました。



落語の方では、これまでテレビで聴いていたのとはやはり違い、自然と話の中に引き込まれていきました。落語は、扇子と手ぬぐい以外は何も持たず、身振り手振り、そして話し方や声色だけで一人で何役もの登場人物を演じます。落語家さんの技によって想像力がかき立てられ、噺の世界が広がっていくのがさすがだと感心します。まさしく話術、話芸ということなのでしょう。落語家さんの記憶力にも驚かされますが、落語教室の後、三遊亭鳳月さんに少しお話を聞く機会がありました。元々お笑い芸人をしていたそうですが普通に会話をしているも、



声に張りがあっけきれいだなと感じました。また自分の持ちネタの演目は、話の展開を意識して頭にあるものを思い出しながら話すという感覚ではなく、自然と言葉が口をついて出てくるのだそうです。そのためには日々の稽古が絶対に不可欠だとおっしゃっていました。そうでなければ、本物の芸ではないという

ことなのでしょう。私たち教師もいわば話すことが仕事なので、落語家さんの話し方のテンポや間の取り方、強弱の付け方など、生徒を引き付ける話術として参考になる点が多いのではないかと思います。両行事とも非常に印象深い経験となりました。

来年は辰年です。本校としても、昇り龍のように勢いのついた年になることを願い教育活動を進めて参ります。皆様どうぞ良いお年をお迎えください。

【校内作品展示会】

1学期からの作品を一か所にまとめて掲示したので、学年進行による成長過程が分かりやすくなりました。上級生の作品を鑑賞することは学校全体の作成意欲を高めます。熱心にメモを取る生徒の姿が印象に残りました。



【落語教室】

五代目圓楽一門会 二つ目 さんゆうていほうづき 三遊亭鳳月さんをお招きして学年ごとに落語教室を行いました。生徒の様子に合わせて演目を変えたり分かりやすい解説だったり生徒の体験コーナーを取り入れたりするなど工夫を凝らした楽しい内容でした。落語の印象がユーモアにあふれ身振りや表情で全てを表現する素晴らしいコミュニケーションであることに気付くことが多くありました。



【和太鼓 Performance Group 「和-jin」公演】

東京都教育委員会が主催する「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」から本校では、和太鼓グループのライブを企画しました。暗幕を閉め照明を効果的に生かした迫力ある演奏は圧巻でした。



【保護者の皆様】

<三者面談> ご多用の中、日程調整などご協力をいただき面談を終えることができました。多感な時期に本人・家庭・学校が成長を共有することができました。3学期は1年間の総まとめと次の学年に向かう準備期間として0学期といわれています。今後ともよろしく願いいたします。

<第2回学校評価> ご協力をお願いします。

【生徒の活躍】

中学生税についての作文 都税事務所長賞 「税のよりよい使い方」

第35回府中市青少年健全育成標語コンクール 特別賞 「悪いこと 注意するのが 真の友」

令和5年度中学生の「税の標語」 全国間税会佳作 税務署長賞 「あら便利 自宅で簡単 e-Tax」

府中市長選挙啓発標語 優秀賞 「一票で 府中の未来を 変えようよ」

優秀賞 「投票は 府中を創る 第一歩」

優秀賞 「大切な あなたの一票 市の未来」

令和5年度中学生による薬物乱用防止標語

地区会長賞 「好奇心 たった一度が 地獄の始まり 元には戻れぬ蟻地獄」

佳作 「手を出せば 元には二度と 戻れない」

男子バスケットボール部 第九ブロック中学校バスケットボール新人大会 第3位